

### 第3回 吉野瀬放水路整備に伴う環境技術検討会 議事録

日 時：平成19年3月28日（水）13:30～15:30

場 所：越前市民ホール

出席者：会 員 服部会長、野村副会長、荒井委員、奥村委員、廣部委員、  
柳瀬委員、佐々木委員、加藤委員、浅野委員、長谷川委員、  
(藤田委員：欠席)

事務局 [県] 環境政策課長（代理）、廃棄物対策課課長（代理）、  
丹南健康福祉センター所長（代理）

河川課長、鯖江土木事務所長、武生土木事務所長

[鯖江市] 福祉環境部長、都市整備部長

[越前市] 企画部長（代理）、建設課長

#### 1 開 会

#### 2 議 事

① 周辺地盤・地下水モニタリング調査、廃棄物試掘・選別調査結果について

② 廃棄物対策の検討

【荒井委員】今後、地下水のモニタリング調査の際には、地下水の分布や流向だけでなく、流速や流量を算出してはどうか。

また福井鉄道への影響についても、今後検討する必要がある。

【事務局】地下水の流速や福井鉄道への影響については、今後の検討事項とする。

【野村委員】廃棄物の中を地下水が流れるのか。間隙率とは何か。

【事務局】前回の調査結果から、廃棄物は殆どが土壌様物からなっており、廃棄物分布範囲内においても、周辺の地盤中での地下水の流れと同様に、地下水がその土粒子間（間隙）を流れている。なお、地下水は水面部だけではなく、地下水の分布する範囲全体として流れているものと考えられる。この土粒子間の隙間の大きさを間隙率として表している。

【廣部委員】地下水位の分布範囲が違うのは。

日野川の河川水位も対象地の上下流側で測定しており、地下水位と併せて時系列に整理する必要がある。今後の水質分析の結果についても、時系列に整理した方が良い。

【事務局】観測井戸の地下水位観測と併せて河川水位の測定を実施したため、第一帯水層の地下水位分布については、河川水位を考慮して図面を作成している。第二帯水層については、河川水との連続性が不明なため、観測井戸のデータを基に図面を作成した。

河川水位および水質等については、指摘事項を踏まえ今後の整理していく。

【長谷川委員】運搬ルート of 具体案はあるのか。周辺は学生・子供の通行が多い箇所があるため、留意すべきである。

【事務局】受入先により搬出ルートが異なるため、現在のところ搬出ルートについて具体的に検討していない。

【荒井委員】鉛直遮水壁で、粘土層を貫通させないで実施する方法については、今後の検

討課題としたい。また、ヒーピング（盤ぶくれ）等の対策についても配慮する。

【事務局】施工技術等の懸念事項、およびモニタリング調査等については、次年度以降に別組織を立ち上げて検討していくことを計画している。

【加藤委員】前処理施設のテントの安全性については問題はないのか。

【事務局】選別中の飛散防止等を考慮したテントについては、今後詳細に検討する。できるだけ雨水と接触させずに水分低下を図りたいことから、処理施設は屋根付としたい。周囲は飛散防止のネット程度の囲いとなると考えるが、臭気が激しい場合は、換気設備を設けるなどし、屋内環境にも配慮した建屋構造となる。機械設備も基礎は固定する予定なので安全上問題ないとする。

【野村委員】掘削・撤去期間が2～3年というのは長くはないか。

【柳瀬委員】①野村委員と同じく、施工期間を短くできないか。

②可燃物の処理はどうするのか。

③前処理施設で出てくる水も処理するのか。

④搬出トラックについては、タイヤ洗浄等はあるのか。

⑤石灰の使用については、受入先処分場の浸出水処理への負荷を低減するため、できるだけ少なくしてもらいたい。

【事務局】①対象地は地下水位が浅く、掘削前に地下水位を低下させる事等に時間を要する。ただし、放水路の他の区間の施工も踏まえ、放水路全体としてできるだけ早く建設できるように努力したい。

②可燃物については、極力選別回収し、焼却処理を行いたいと考えている。

③前処理の際の処理水（安定型物の水洗浄排水等）については、きちんと水処理施設にて処理を行う。

④搬出トラックの洗浄等についても、配慮する。

⑤石灰の使用については、指摘事項を踏まえ、事前の地下水位の低下等により掘削物の水分削減に努めたい。

【奥村委員】旧砂利取エリアに近接して中間処理業者が焼却炉を保有しているが、その焼却炉は継続稼働させるのか。近接する市道は、学生等の通学路であり、通行車両については配慮願いたい。

【事務局】現在は市道を使用する計画はないが、今後受入先との調整の中で検討していく。

【浅野委員】①前処理施設の汚水について、吉野瀬川には十一ヶ用水等もあるため、日野川へ直接排水してもらいたい。

②奥村委員と同じく、対象地は交通量が激しいため、搬出ルート等の検討の際には十分考慮してもらいたい。

③一般廃棄物は越前市（南越清掃組合）で処理することだが、これだけでも早く処理してもらいたい。

【事務局】①前処理施設の汚水については、浄化処理後、日野川への放流を計画している。

②配慮します。

【佐々木委員】①運搬経路はどこに付くのか。

②完成後は橋がかかるのか。

③鉛が検出されているが、農薬由来なのか、自然由来か。

【事務局】完成後は、市道を付け替えて橋を設置する計画である。鉛については、廃棄物自体にも微量ながら含まれており、今のところ起源の特定は困難である。

【加藤委員】越前市（南越清掃組合）の最終処分場の残余容量はいくらか。

【事務局】坂口地区の処分場は平成17年11月に稼動開始した。埋立容量は156,000m<sup>3</sup>である。平成18,19年度で8,000m<sup>3</sup>の埋立が完了した。今回の受入で15年間の埋立期間の変更はない。

【柳瀬委員】①掘削範囲はできるだけ狭くし、浸出水の発生量を抑制したほうがよい。

②作業環境上は、冬場に掘削を行ったほうが有害ガスの発生を抑制できてよいが、積雪により作業効率が落ちないか心配である。

③受入側（越前市）の浸出水処理方法を変更する必要があるか、確認しておくほうがよい。

【事務局】指摘事項に配慮した検討を行う。

#### 4 その他

#### 5 閉 会

以上